

第 **3** 章

計画の基本的な考え方

第3章 計画の基本的な考え方

市の文化政策の基本的な考え方として、目指すべき将来像を掲げ、これを実現するための柱として3つの基本方針を定めます。これらに基づき展開する6つの目標、12の施策を示します。

1. 将来像

創造力あふれる人とまち・みしま

- 三島は、霊峰富士からの豊富な湧水に恵まれた水の都であり、古くから伊豆における政治経済の中心、交通の要衝として、また、三嶋大社の門前町として栄え、文化を育んできました。現在も、新幹線等により首都圏からの交通の利便性が高く、緑やせせらぎが美しい住みやすいまちです。
- 文化は、人々の心を養い、人生に喜びや力、生活に潤いや豊かさを与えてくれます。また、人と人を結び付けることができるとともに、身近で多様性のあるものです。
- 豊かな文化の土壌があるこのまちにおいて、暮らしや文化を育んだ「三島の水」による水文化など、その豊富な文化資源を多くの市民が知り、伝統的な文化を守り継いでいくとともに、新たな文化の創造に積極的に取り組むことによって、個性的な魅力あるまちづくり、誇りや愛着の持てるまちづくりへと発展する大きな可能性があります。
- 私たち市民は、文化の種をまき、庭をつくり、花をさかすことによって、品格と活力のある「創造力あふれる人とまち・みしま」の実現を目指します。

2. 基本方針

1 文化の種をまこう

生活に身近な場面で文化に出会うと、それを「きっかけ」として五感が刺激され、感性が豊かになり、創造性や表現力が高まるなど、私たちの生活に楽しみと彩りが加わります。

そのため、子どもや日常生活で文化に親しむことが少なかった人々も、気軽に自然と文化に出会うことができる機会の創造（出会いの種まき）に取り組みます。

2 文化の庭をつくらう

文化との出会いが継続的な文化活動に発展していくと、生きがいや仲間との絆が育まれ、人生や生活がより豊かなものとなります。

そのため、文化の創造・交流の場として文化施設等の環境を整えるほか、より多角的に文化活動を支援する仕組みをつくることにより、文化を育む環境の創造（育成の庭づくり）に取り組みます。

3 文化の花をさかそう

育まれた文化には大きな期待があります。個々の文化活動が新たな場所で、新たな人やグループとつながることで、新たな文化や多様な広がり生まれ、まち全体に活気をもたらします。

そのため、他分野との連携や広域での交流のほか、地域の文化資源や歴史・風土を活かしたまちの魅力の創造（文化の開花と広がり）に取り組みます。



3. 施策の体系



4. 数値目標

	実績 平成25年	現状 令和2年	目標 令和7年
1 子どもの文化芸術体験の充実が重要と考える人の割合	41.1%	▶ 30.3%	▶ 40.0%
2 クリエイティブワークショップの中学生以下の参加者数	—	▶ 3,437人 (R1)	▶ 17,500人 (R3~7の累計)
3 日常生活の中で文化が重要と考える人の割合	87.6%	▶ 90.8%	▶ 91.0%
4 三島の文化的環境に満足している人の割合	36.7%	▶ 44.7%	▶ 53.0%